

## 研究開発による新製品で医療分野に参入 大学との共同研究による新技術でさらなる成長を目指す

同社は、1989年に株式会社コスモスとして設立、2001年に現在の社名へ変更した。創業以来、電子機器の受託開発を主力事業としている。また、卓上ロボットなどユーザーニーズに応える自社製品の開発も行ってきた開発志向のメーカーである。2017年度には聖マリアンナ医科大学と共同研究した「マルチ呼吸機能測定装置」を開発した。内視鏡と組み合わせて肺内の二酸化炭素、酸素を測定し、気道の換気状態や血流状態を測定するこの装置の発売で本格的に医療機器分野へ参入した。

所在地	宮城県仙台市青葉区栗生5丁目4番地の1	設立	1989年
電話/FAX	022-302-8520 / 022-392-0270	資本金	7,000万円
URL	http://cosmosweb.com	従業員数	82人
代表者	代表取締役 吉村 直幸		



### 医療分野に参入のため、医療機器製造業登録や第二種医療機器製造販売業許可を取得

医療機器分野へ事業展開するため、新たに医療機器製造業登録や第二種医療機器製造販売業許可を取得した。工業製品とは異なったアプローチで販売促進を展開。試作品による臨床研究などで得られた医学的データを医学系学会にて、論文発表、学会口頭発表、機器展示等を行い、広く周知を図っている。このような取組が評価され、地域の支援機関である一般財団法人みやぎ産業振興機構が実施する「ステージアッププロジェクト」認定支援を第1号として取得、さらなる新技術・新製品の開発と事業の拡大を目指している。



呼吸機能測定装置（同社開発）

### 生命活動の根幹（呼吸数、心拍数、血圧、体温）を呼吸情報で分析する新技術の開発

MEMS技術（Micro Electro Mechanical Systems・微小電気機械システム）によって、マルチ物理量センサ集積化技術とバイタルサイン信号処理技術を融合。呼吸という流体流れから、呼吸、心拍数、心拍出量、さらに体温の情報を読取る計測・解析手法を確立する技術を研究開発している。その他の医療機器についても複数の大学と共同研究を進めており、数年内の製品化を目指している。高齢化などで需要が見込まれる医療機器を新たな経営の柱に育てる計画である。



社員による研究開発

### 多様な人材の採用と、世界7か国への海外事業展開（ロボット輸出）に取り組む

採用は中途人材が中心だったが、新卒・中途の分け隔てなく、UIターン、年齢に拘らず、継続的な通年採用を検討している。開発部門では、スタッフや協力会社とのコミュニケーションを重視しており、女性社員が10年間で約2割に増加。今後は女性の職種を広げて採用したい意向である。また、宮城県を製造拠点として、3軸標準機ロボット、4軸標準機ロボット、カスタマイズロボ等を世界7か国に輸出（北米、中米、中国、韓国、マレーシア、アイルランド、チェコ）。これまでに3,000台以上を販売している。



ローコストカスタマイズロボット